

globalforce.link 通信 [2016.9.5.]

グローバルフォース・ドット・リンク通信

(第 0045 号)

2016.9.5.

\$\$\$name\$\$\$さま、お元気様でございます。

異文化コミュニケーション研究所(R)所長の島崎です。

ドラゴンフライ(とんぼ)が飛び始めています。

屋間は猛烈に暑くても、朝夕は少し涼しい風を感じます。秋が近づいて
いますよね。

日本は、自然が豊かで、四季があり季節ごとの彩があります。

とても素敵な国ですよ。留学生たちも、日本の美しさが好きだと良く言っています。(^^)

さて、秋の余韻に浸ってはいられません。来月の14日には第二回目の『ワークショップ型ジョブフェアROMA』があります。徐々に学生の応募が入っていますが、忙しい本番はこれからですからね。

さあ、元気に頑張りましょう！

■トピックス■

1. 今週のフォーカス「日本人と同じ採用」
2. 勉強会・セミナー等のご案内
3. 摩訶珍(まかちん)編集後記

11

| 1 | 今週のフォーカス「日本人と同じ採用」

企業さまに「ワークショップ型ジョブフェアROMA」のご説明をすると、
ときどき下記のようなご返事を頂くことがあります。

『当社では、日本人学生との差別化はしていません。外国籍の学生も日本人学生と同じ試験を受けてもらっています。また、グローバル人材に特化した採用もしていません。』

わざわざ外国人を特別に採用する必要はないということなのだと思いますが、日本人学生と同じ試験を受けて『その中に外国人がいる』というが、少々気に掛かります。

多くの大手企業にヒアリングをすると、普通に採用試験をして合格者の3～5%が既に外国人留学生になってきています。留学生の絶対数は日本人学生に比べてはるかに少ないのにも関わらず、優秀な日本人学生との競争に勝って入社するのですから、彼らの優秀さは際立っているのでしょう。

もちろん、それに問題があるというのではないのですが、それなりに磨けば独特の輝きを放つ「特別な原石」を、他の日本人学生と同じラインで活用して同じ色（日本的な）を放つ人財として活用することがもったいないと感じるのです。

特別扱いをするというのではなく、元々持っている異文化の個性(特性)を使った方がもっと価値を生み出すのではないのでしょうか。

日本企業の場合、どうしても『総合職』という発想をして、一本摺りでなく、網ですくい上げる癖がついているため、そうなっているのですが、タコも鯛も鯛(いわし)も一緒に同じように育ててどうするのでしょうか？とても、とてももったいない気がします。

ましてや外国人留学生の持っている仕事やキャリアに対するマインドは、一般的な日本人が持っているものとはかなり違うことを知っていながら、そのまま使うため、後になって「外国人は直ぐに辞める！」と小言を言うのが、ある意味理解できません。

そして何よりも、海外の会社なら高給を出してでも欲しいと思える人財でも、日本人採用を前提とした「網」ではすくい上げられない。とても、もったいと感じます。

「」

| 2 | 勉強会・セミナー等のご案内 [事前申し込み要]

「」

(1)外国人留学生向け

【勉強会】声に出す日本語 ★無料★

外国人留学生の日本語力アップのために『声に出して』読む

日本語の勉強会です。企業で働くためのレベルを、楽しく学んで頂きたいと思います。無料です！(^^)

次回は2回目の勉強会です。8月は夏休みだったため実施しませんでした。次回は多くの留学生に集まって学んでもらいたいと思います。

2016年9月13日(火) 19:00 ~ 20:30

神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央 1-13-6

(横浜ファッションデザイン専門学校 2号館)

最寄駅:JR 鶴見駅、京急鶴見駅

(2) 企業・学校関係の皆さま向け

【高度外国人(globalforce)採用のための - 成功するインターンシップ】

場所:星陵会館(東京都千代田区永田町2丁目16-2)

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日本は島国、日本は日本人だけが住む国。

少しずつの変化に気が付いていないだけだと思います。

A horizontal row consisting of 16 triangles. The sequence starts with a white triangle, followed by a black triangle, and continues to alternate between white and black triangles throughout the entire row.

『日本を、世界中の優秀な人財が活躍する国にする』

」」」」 <http://www.globalforce.link>

〒 Tel:045-307-8248(代) FAX:045-461-1577

代表取締役社長 所長 島崎ふみひこ

(当研究所は、株式会社フィギュアネットの事業部です。)